

続・ふるさとこばれ話

祖母井東宝物語⑤

第62回

祖母井東宝は、昭和38年に映画ファンに惜しまれながら閉館した。テレビが普及し、娯楽の王様だった映画館の客が激減したのだ。

役目を終えた祖母井東宝は、解体移築され金子農機具店の農機具倉庫として再利用されたが、昭和60年代、農機具店の閉店に伴い取り壊された。祖母井東宝の存在を物語る建物は現存しない。

しかし、建物はなくなつても、祖母井東宝の電話番号は現在も残り、当時の映画館関係者が使っている。

祖母井東宝の電話番号は祖母井の39番で、番号を決めるに当たっては議を開店し、祖母井東宝の卒業し薬剤師の資格を取り、昭和41年に金子薬局を開店し、祖母井東宝の

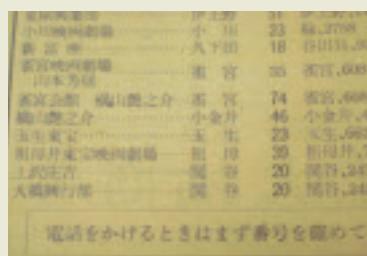
論があった。「末尾が4とか9だと「死」や「苦」につながり客商売には縁起が悪いし：何かいい番号はないか」

そのとき「39番でどうだ。映画よ、今夜もあります」とう。サンキュー。お客様がとうだ」「いいな。覚えやすい番号だ。39番で行こう」。一転して電話番号が決まった。

時は流れ閉館に当たつて支配人の金子健さんが祖母井東宝の電話番号39番の権利を買うことになった。その後、金子さんの息子、恪さんが大学を卒業し薬剤師の資格を取り、昭和41年に金子薬局を開店し、祖母井東宝の

電話番号39番を薬局の電話番号とすることになった。

39番には祖母井東宝の魂が今も宿り、金子薬局に電話すると、もしかしたら、電話口から原節子や岸恵子の声が返ってくるかもしれません。



▲昭和30年の電話帳

編集後記

□皆さん、はじめまして。4月の異動で報広聴係になりました。よろしくお願ひします。

□取材や広報紙・ホームページと、使ったことのないカメラやパソコンソフトをいろいろと駆使しなくてはなりません。どれがなんだか：まだ戸惑っています。

□一人前への道のりは険しいですが、早く

覚えて、皆さんにいい情報提供ができるよう、がんばっていきたいと思います。



■編集 芳賀町広報広聴委員会

☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp

■発行 芳賀町企画課

栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地

■芳賀町ホームページアドレス

http://www.town.haga.tochigi.jp

④芳賀町の携帯サイトはコチラから▶



この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA: 環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com

**しまをかしの
芳賀の自然**

14

ナガサキアゲハ

チョウ目アゲハチョウ科

写真提供=芳賀町自然に親しあい会 撮影場所=井頭公園花ちょう遊館

分 布=東海地方以南

生息地=低山地から平地や草地や原野など
人家の付近（畑の周辺）

時 期=3月～10月

食 性=幼虫はミカン科の葉など

大きさ=開張（羽を広げた最大値）90～120mm

特 性=雄は全体が黒く、雌は前羽の付け根に赤い斑紋と後羽に赤茶色と白い斑紋があり南方ものは大きい。アゲハの仲間は後羽に突起があるが本種は無い。